

宗内寺院紹介 59

東京教区第八部

叡光山 佛乘院 安養寺



①本堂 ②本堂右脇間 ③山門 ④観音堂 ⑤古文書と絵本

東京教区第八部
叡光山 佛乘院 安養寺住 所 / 〒183-0027 府中市本町1-17-10
電話番号 / 042-361-2248

当山は貞観元年（八五九）慈覚大師の開山と伝えられる。その後勅命により尊海僧正が永仁四年（二九六）に再興、明治維新前は武蔵総社大國魂神社別当寺で十四の末寺があった。徳川家康公より代々十五石の朱印境内除地を賜り、江戸城賀正登城の折りには色衣着用、乗輿独礼を例とした。明治十六年に世良田長樂寺の末寺を離れ、中興より三十八世と続く。

平成十年改修の本堂は、寛政元年（一七八九）の再建、中央に伝恵心僧都作の本尊阿弥陀如来（三尊仏）、右脇間に毘沙門天・吉祥天・善膩師童子、左脇間に慈恵大師御影、不動明王等を祀る。観音堂は明治四十四年の建立、浅草寺観世音菩薩御分体、荼枳尼天、不動明王を祀り、多摩川観音霊場第五番札所。山門は高麗門様式、天保四年（一八三三）再建、平成元年解体復元された。

また、当山の伝説が府中市教育委員会より、絵本『たぬきのお坊さん』として出版されている。